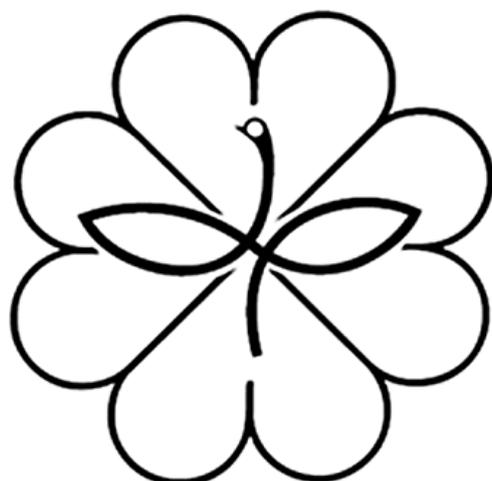


令和2年度
第4ブロック
民生委員児童委員研修会



令和2年10月28日（水）

石川県立武道館

金沢市民生委員児童委員協議会
社会福祉法人金沢市社会福祉協議会

令和2年度 第4ブロック民生委員児童委員研修会

<日程・内容>

<p>1. 開会あいさつ</p> <p>金沢市民児協理事／千坂地区民児協会長 福島 恵子 氏</p>	<p>19:00～19:05</p>
<p>2. 講義「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！ ～負のスパイラルを断ち切るために～」</p> <p>講師：日本赤十字社 石川県支部 事業推進課 主事 吉田 高子 氏</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"><p>新型コロナウイルスの「3つの顔」が偏見・差別につながります。その仕組みを理解し、新型コロナウイルスによる偏見・差別を防ぐために、民生委員児童委員としてできることを考えてみましょう。</p></div>	<p>19:05～19:35 (30分)</p>
<p>3. 事前アンケートについて</p> <p>テーマ「今さら聞けない新型コロナウイルスの対策・対応Q&A」 ～民生委員活動上の不安や疑問を共有しましょう～</p> <p>説明：金沢市社会福祉協議会 地域福祉課 主事 水橋 佑介</p>	<p>19:35～20:00 (25分)</p>
<p>4. 閉会あいさつ</p> <p>森本地区民児協会長 吉田 文雄 氏</p>	<p>20:00</p>

【講義】「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！
～負のスパイラルを断ち切るために～」

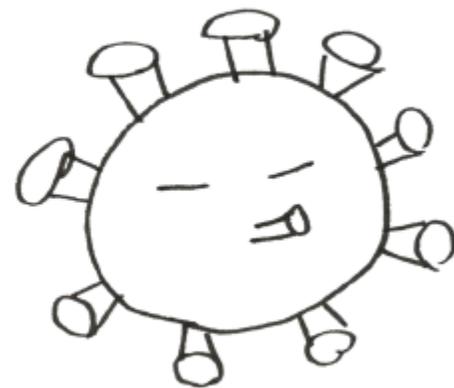
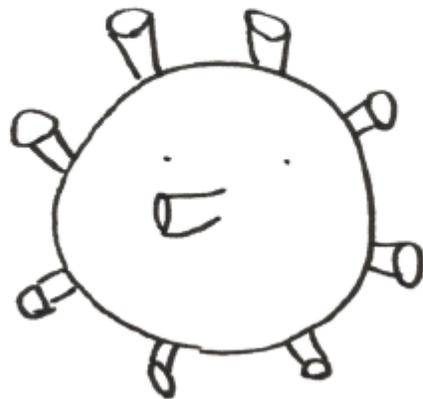
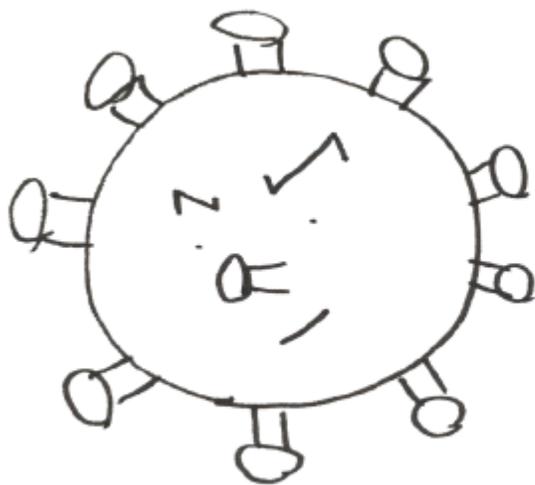
日本赤十字社 石川県支部 事業推進課
主事 吉田 高子

<メモ>

新型コロナウイルスの 3つの顔を知ろう！

～負のスパイラルを断ち切るために～

新型の
コロナです

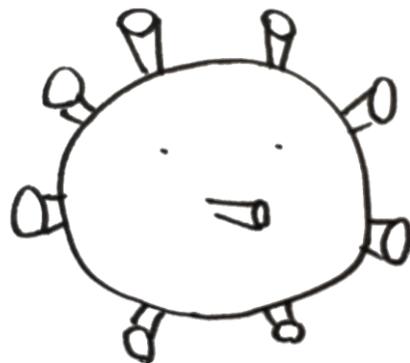


Menu.

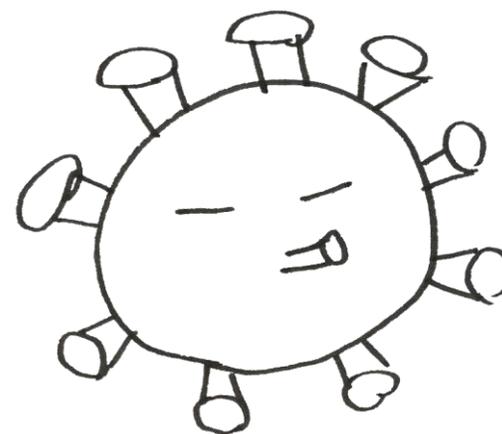
1. コロナの「3つの顔」を知ろう
2. 負のスパイラルを断ち切るために
3. 赤十字の活動

第1と第2の“感染症”は

どうつながっているの？



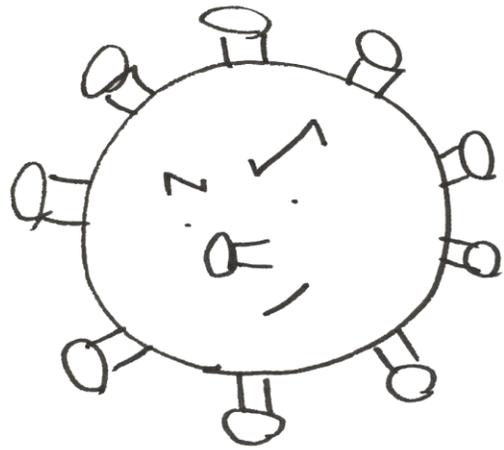
第1の“感染症”
「病気」



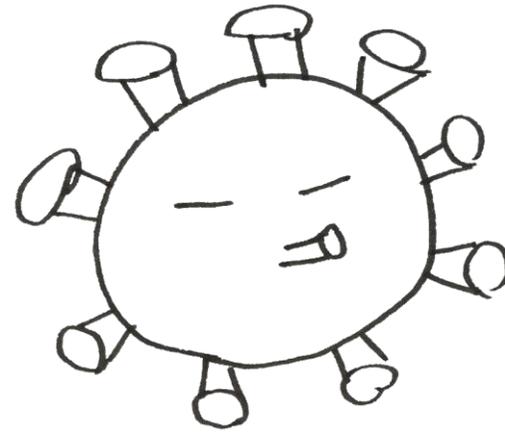
第2の“感染症”
「不安」

第1の“感染症”はどのようにして
第2の“感染症”を引き起こすのでしょうか？

答え：



第3の“感染症”
「差別」



第2の“感染症”
「不安」



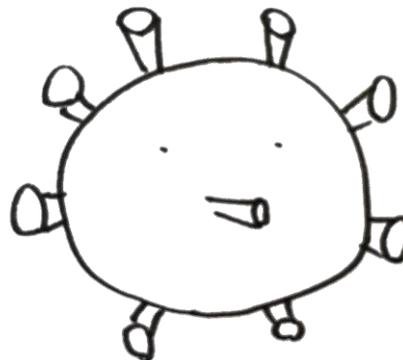
第2の“感染症”はどのようにして
第3の“感染症”を引き起こすのでしょうか？

答え：

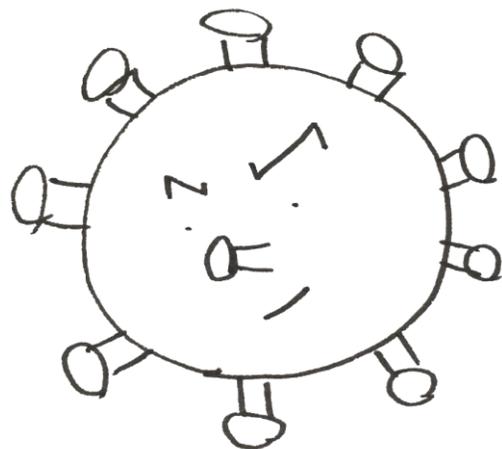
第2と第3の感染症は
どうつながっているの？

第3の“感染症”はどのようにして
第1の“感染症”の拡大を引き起こすのでしょうか？

答え：



第1の“感染症”
「病気」



第3の“感染症”
「差別」

第3と第1の感染症は
どうつながっているの？

皆さんも、

ウイルスに関する悪い情報ばかりに目が向いていたり、なにかとウイルスに結び付けて考えたりしていませんか？

「あの人咳してる・・・コロナなんじゃない」「あの地域はコロナが流行っているからあそこ
のものを買うのはやめよう・・・」「
「熱があるけど怖いから黙ってしよう・・・」

このように思い、行動することから
“感染症”は広がっていきます。

これらの“感染症”をふせぐために、
私たちはどのような工夫ができる
でしょうか？

うーん



むむむ...

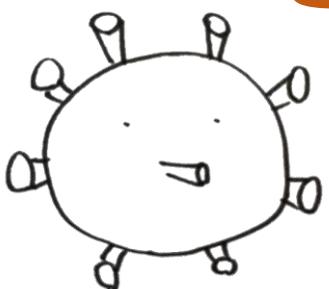
Menu.

1. コロナの「3つの顔」を知ろう
2. 負のスパイラルを断ち切るために
3. 赤十字の活動

第1の感染症を防ぐために

第1の“感染症”を

ふせぐために



1人1人が衛生行動を徹底しましょう。

「手洗い」

「咳エチケット」

「人混みを避ける」

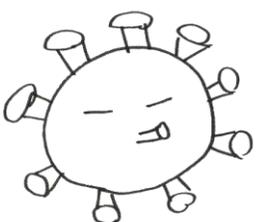
など、

ウイルスに立ち向かうための行動を、
自分のためだけでなく周りの人のため
にもすることが大切です。



第2の感染症にふりまわされないために

第2の“感染症”に



ふりまわされないために

不安や恐れは身を守る為に必要な

感情ですが、不安や恐れは私たちの

気づく力

聴く力

自分を支える力

を弱め、私たちから力を奪い、

時に冷静な対応ができなくなることも
あります。



第2の“感染症”にふりまわされないために

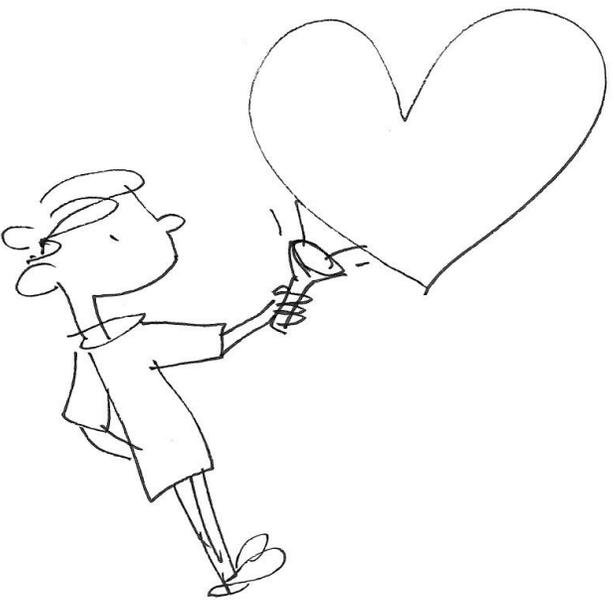
気づく力を高める

まずは自分を見つめてみましょう

今、自分自身はどういう状況にいますか？

その状況の中でどう思うかわいてきますか？

自分の心にサーチライトをあててみる



第2の“感染症”にふりまわされないために

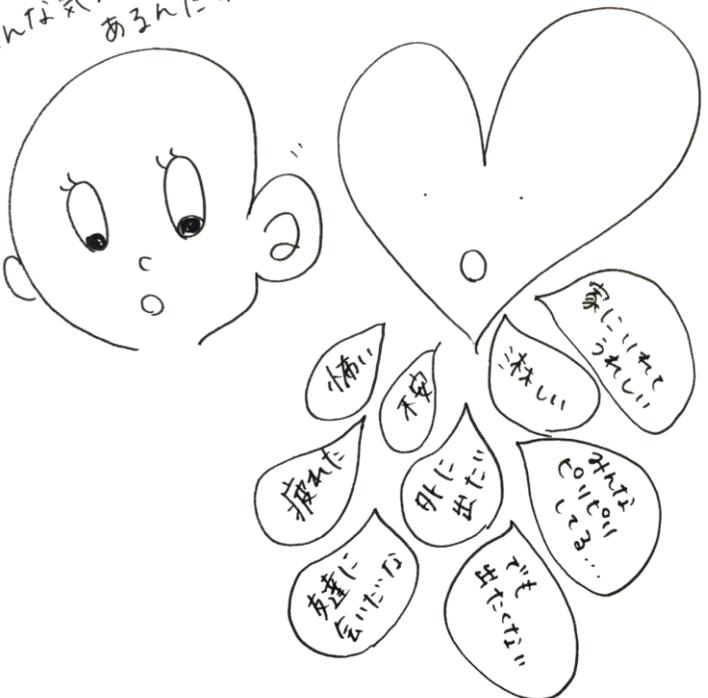
聴く力を高める

自分自身にどんな変化が起きているのか、心の声を聴いてみましょう。

この数か月、変わったことはありますか？

逆に、前と同じように続けられていることはありますか？

こんな気持ちがあるんだね...



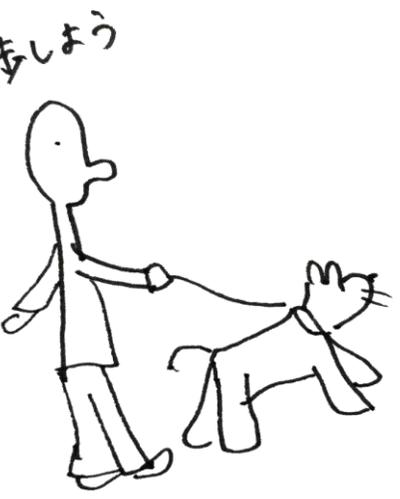
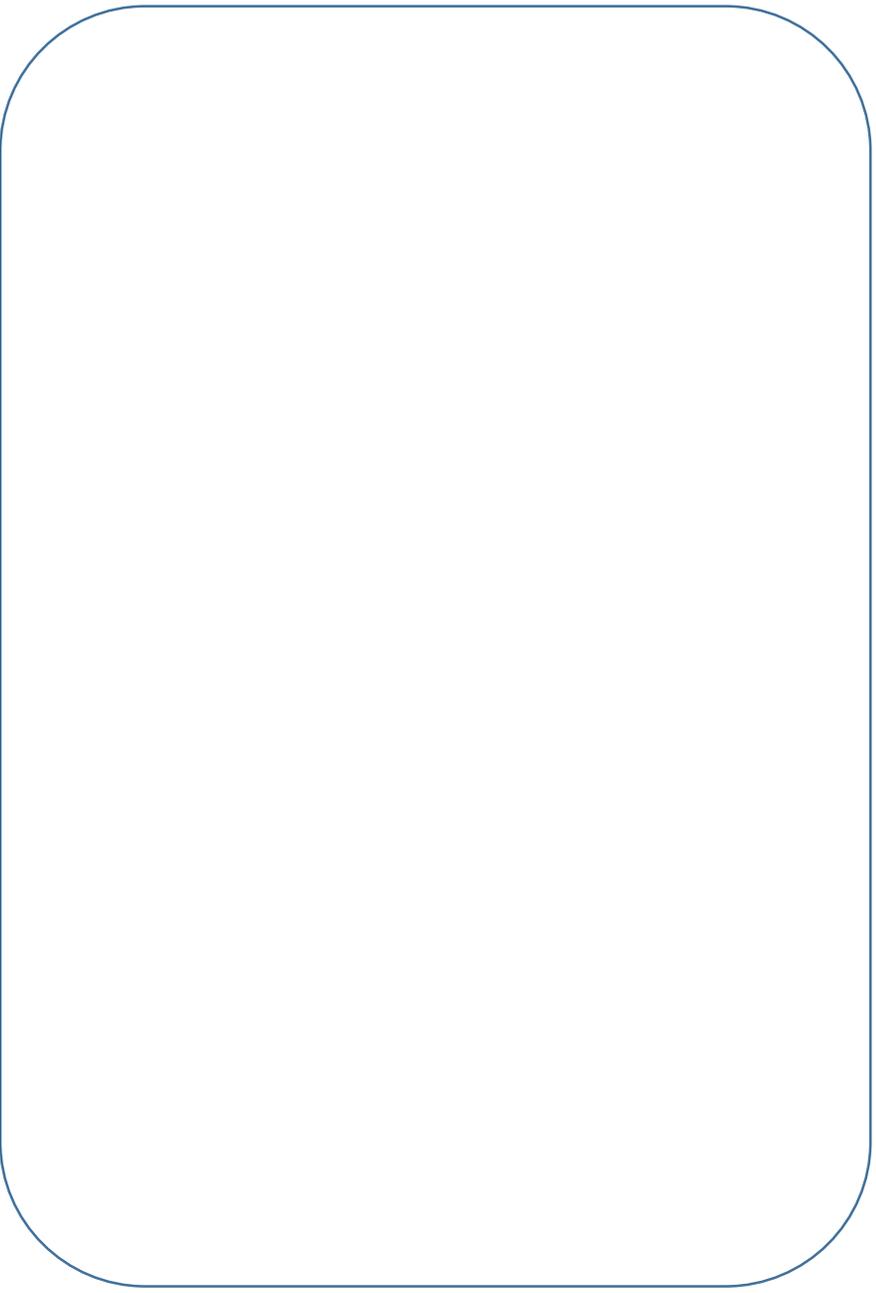
第2の“感染症”にふりまわされないために

自分を支える力を高める

自分の安全や健康のために必要なことを
自ら選択してみましよう

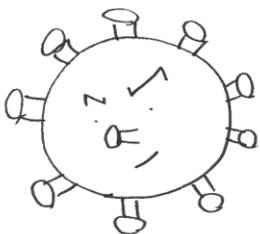
自分のやりたいことに時間を使えて
いますか？

気分転換のためなどに何か特別に
やっていることはありますか？



第3の感染症をふせぐために

第3の“感染症”を ふせぐために



あなただったらどうしますか？

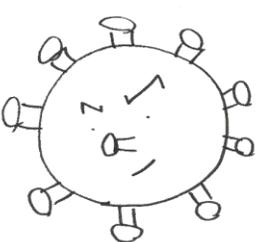
ワイドショーで、コメンテーターが

「××を飲むと、感染症が治ります！」
と言っていた時。

※実際に日本赤十字社でも事例がありました。
確かな情報かどうかは、情報元を調べるなど
慎重に確かめる必要があります。

第3の“感染症”を

ふせぐために



あなたはこういう気持ちになりますか？

親友は看護師さんで、病院で一生懸命

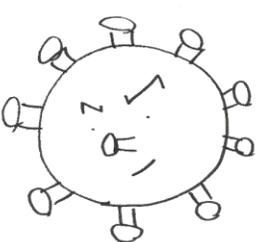
働いています。ある友達がその親友に、

「コロナがうつるからこっちこないで」

と言っていた時

第3の“感染症”を

ふせぐために



あなたの周りで、「第3の感染症」が流行しているような例はありますか？

どのように対応すればいいでしょうか？

第3の“感染症”を

ふせぐために

みなさんそれぞれの場所で感染を拡大しないように頑張っています。

- 小さな子どもがいる家庭
- 高齢者
- 治療を受けている人とその家族
- 自宅待機している人
- 医療従事者
- 日常生活を送って社会を支えている人

この事態に対応しているすべての方々を

ねぎらい、敬意を払いましょう。

あなたが今でできることは
何ですか？

まとめ

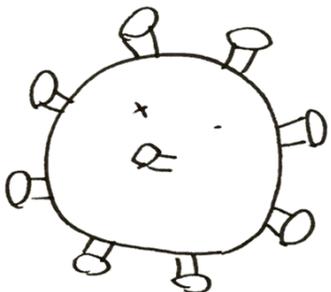
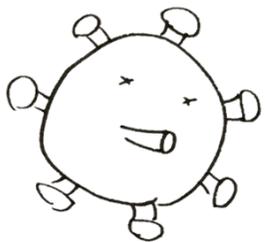
3つの“感染症”をみんなで
乗り越えていくために

このように、新型コロナウイルスは、3つの
“感染症”という顔を持って、私たちの生活に
影響を及ぼします。

このウイルスとの戦いは、長期戦になるかも
しれません。

それぞれの立場でできることを行い、
みんなが一つになって負のスパイラルを
断ち切りましょう！

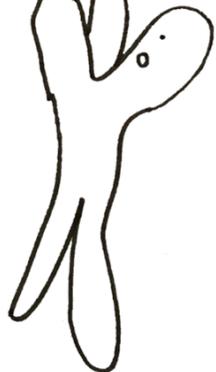
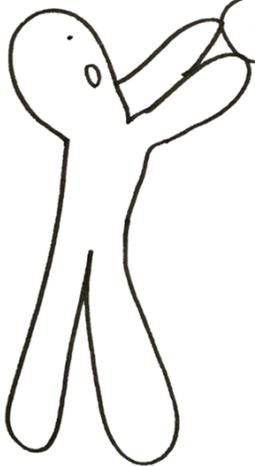
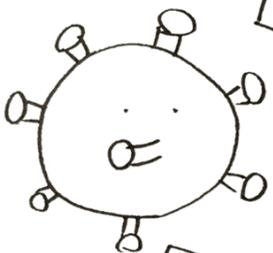
第1（病気）



第2（不安）



第3（差別）



参考文献・資料

- EMDR EUROPE (2020) *CORONAVIRUS: WHAT IS HAPPENING? Guidelines on the psychological and emotional aspects*. Available at: <https://www.tacthellas.org/wp-content/uploads/2020/03/Guidelines-for-the-recent-Coronavirus-times.pdf> (Accessed: 2020/03/22).
- 国際赤十字・赤新月社連盟 心理社会センター (2014) *Psychosocial support during an outbreak of Ebola virus disease*. Available at: <https://pscentre.org/wp-content/uploads/2018/03/20140814Ebola-briefing-paper-on-psychosocial-support.pdf> (Accessed: 2020/03/05).
- 国際赤十字・赤新月社連盟 心理社会センター (2018) *A Guide to Psychological First Aid*. Available at: <https://pscentre.org/?resource=a-guide-to-psychological-first-aid-for-red-cross-red-crescent-societies> (Accessed: 2020/03/05).
- 国際赤十字・赤新月社連盟 心理社会センター (2020) *新型コロナウイルス(nCoV)のアウトブレイク下における支援スタッフ・ボランティア・コミュニティのための精神保健・心理社会的支援(MHPSS)について* Available at: <https://pscentre.org/?resource=mhps-ifrc-psc-covid-19-guidance-japanese> (Accessed: 2020/03/23) (2020年2月22日暫定版, 翻訳: 日本赤十字社).
- 国際赤十字・赤新月社連盟 心理社会センター, ユニセフ, 世界保健機関 (2020) *Social Stigma associated with COVID-19* (2020年2月24日版) Available at: <https://pscentre.org/?resource=social-stigma-associated-with-covid-19> (Accessed: 2020/03/20)
- 日本赤十字社 (2020) *新型コロナウイルス(COVID-19)に対応する職員のためのサポートガイド* (2020年3月10日初版).
- 森光玲雄 (2020) 「ウイルスによってもたらされる3つの感染症」日本赤十字社 (2020) *新型コロナウイルス(COVID-19)に対応する職員のためのサポートガイド* (2020年3月10日初版), pp.6より引用.

「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！～負のスパイラルを断ち切るために～」

発行年月 2020年3月26日 初版
発行 日本赤十字社新型コロナウイルス感染症対策本部

©日本赤十字社 2020

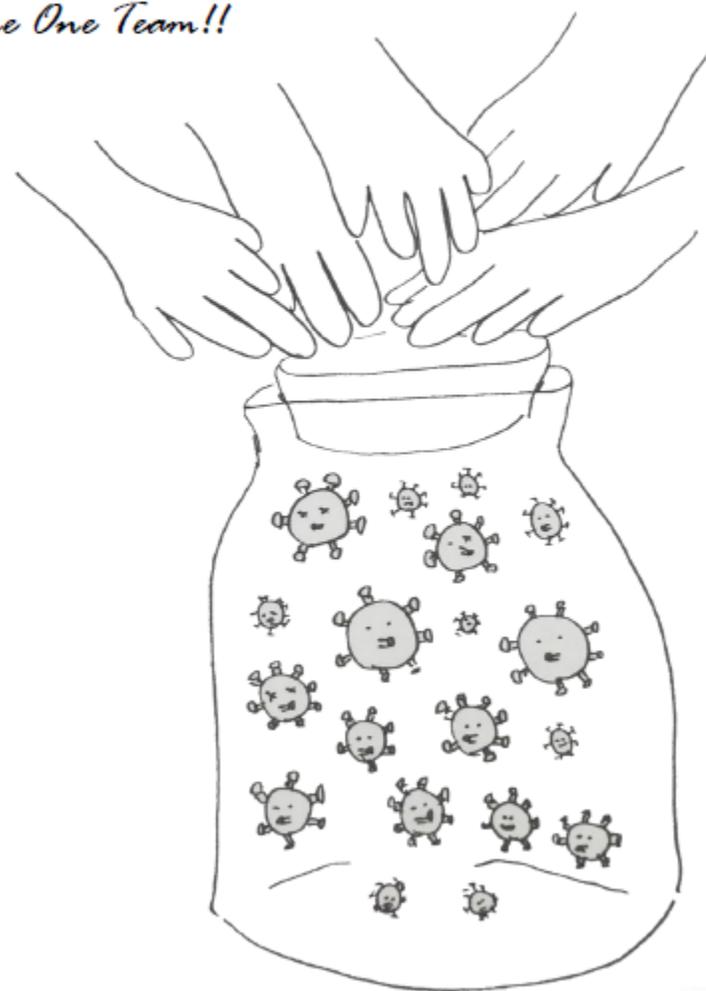
We are One Team!!

【監修】

諏訪赤十字病院 森光 玲雄
国際赤十字・赤新月社連盟心理社会センター登録専門家

【執筆協力】

日本赤十字社医療センター	秋山 恵子 (イラスト)
	宮本 教子
伊勢赤十字病院	中井 茉里
本社 事業局	堀 乙彦
救護・福祉部	武口 真里花
	山内 友和
国際部	佐藤 展章
	矢田 結
災害医療統括監	丸山 嘉一



内容について、許可なく掲載・改変・トレース・翻訳を禁止します。
引用、印刷、電子データでの配布等の際には、出典を明記の上、ご活用ください。

Menu.

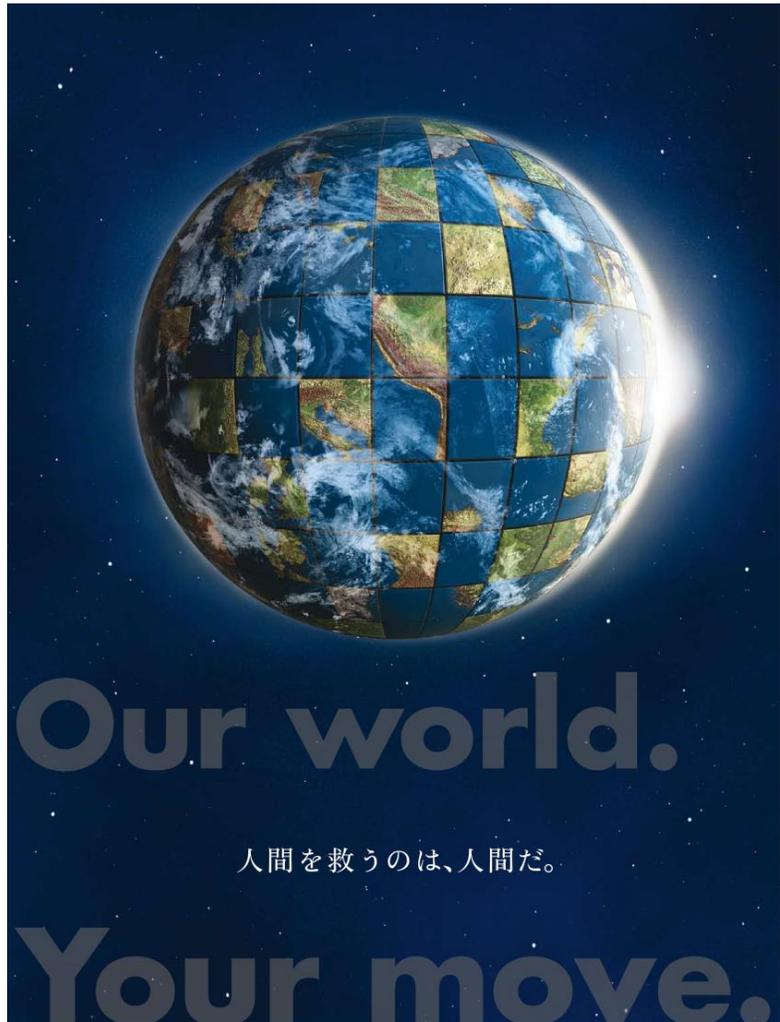
1. コロナの「3つの顔」を知ろう
2. 負のスパイラルを断ち切るために
3. 赤十字の活動

赤十字を知っていますか??



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

赤十字とは…



- 世界192の国と地域に存在する世界最大の人道支援団体（国連193カ国）
- 156年前から活動
- 日本赤十字社は今年で創立143年

日本赤十字社の使命

わたしたちは、

苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、

いかなる状況下でも、

人間のいのちと健康、尊厳を守ります。



人道

日本赤十字社の事業

- 災害救護活動
- 国際活動
- 赤十字ボランティア
- 救急法等の講習
- 青少年赤十字(JRC)
- 看護師養成事業
- 医療事業
- 血液事業



赤十字のコロナ対応



クルーズ船

A healthcare worker wearing a blue surgical cap, face shield, mask, and gown is focused on a patient lying in a hospital bed. The worker is also wearing purple gloves. The room is equipped with medical equipment, including an IV drip stand with a bag, a calendar on the wall, and a computer monitor. The scene is brightly lit by overhead lights and a window on the right.

全国の赤十字病院



石川県支部(DMAT隊員)

コロナ関連動画公開中!! (日赤石川県支部作成)



INTERVIEW

「正しい手洗い」も
レクチャー!

“**新型**”コロナウイルスって何?

ワクチンはいつできるの?

etc.

 **日本赤十字社**
Japanese Red Cross Society

A woman in a black uniform with a red cross logo on her chest is smiling and holding a microphone. The background is a light blue textured wall with dark blue banners containing text.

本日使用動画
「3つの顔を
知ろう!」も



(日赤県支部ホームページ)

日本赤十字社の活動資金

活動資金について



Q. 日赤は、国や地方公共団体からの補助金で運営されているのですか？



A. 活動資金の主な財源は、**県民の皆さまからお寄せいただくご寄付**です。補助金が活動資金の財源になることはありません。

活動資金について

【ご協力方法】



- ①お近くの市町役場、社協の赤十字担当窓口
- ②銀行、郵便局でのお振込み
- ③口座振替、クレジットカード
など

「今さら聞けない新型コロナウイルスの対策・対応Q & A」 事前アンケート結果および回答

(1) 新型コロナウイルス感染症について

- Q 1. インフルエンザ流行期に入り、発熱した場合、受診はどうしたら良いか。
- Q 2. ウイルスは、夏より冬のほうが活発になるのではないか。
- Q 3. ドアや手すり・服等についたウイルスは、どれくらい生きているのか。
- Q 4. 店で買う品物の包装や果物などについたウイルスの生存期間と注意点は。
- Q 5. 飲食業などで店員が感染防止用の手袋をしたままお金に触るのは如何か。
- Q 6. 会議などで、2週間以内に県外訪問した方の参加は控えてもらっているが、GoTo トラベルが全国的になったので緩和しても良いか。
- Q 7. 感染拡大防止の対応が薄れてきている中、(マスクを外して近くで会話・消毒薬の設置場所がわかりにくい店・カートやかごの消毒は誰が?) 消毒薬持参はこだわり過ぎなのか。
- Q 8. マスク着用での会話・手指消毒に感染予防効果はあるのか。
- Q 9. 感染に、気温と湿度は関係しているのか。
- Q 10. 医療従事者に院内感染が出たら、その家族にも早く検査してほしい。そして、家族や周りの人たちが差別を受けることがないようにしてほしい。
- Q 11. 感染者の家族等で、3回目位の検査で初めて陽性になる方もいるとの報道があったがそれはなぜか。また、接触者は2週間の隔離が必要とされているがそれで大丈夫か。
- Q 12. 感染経路不明者が多くいるが、空気感染もあるのか。

※次頁が保健所からの回答です。

(1) コロナ関連

◆保健所に確認

① インフルエンザ流行期に入り、発熱した場合、受診はどうしたら良いか。

→自己判断せず、まずは身近な医療機関に相談してください。

② ～⑤、⑦～⑫新型コロナウイルスについて

・気温や湿度は新型コロナウイルスの伝播に影響しますが、冬だからと言って必ず夏よりも流行するとは限りません。流行するかどうかは私たちの感染対策の徹底具合によっても左右されるものと考えられています。

・ウイルスは、増殖するための動物やヒトがいなければ、時間がたつと壊れてしまいますが、付着した物の種類によっては24～72時間くらい生存するといわれています。

・手洗いは、流水によりウイルスを洗い流すことができ有効ですし、石けんを使うとコロナウイルスの膜を壊すことができるのでさらに有効です。手洗いができない場合は、手指消毒用アルコールを使用するとよいです。

・一般的には、飛沫感染(※1)と接触感染(※2)で感染するので、感染のリスクを軽減するには、マスクの着用、咳エチケットや手洗い、3密を避けるなどの対策が重要です。会話する際には、マスクの着用を引き続きお願いします。

※1 飛沫感染；感染者のくしゃみ、咳、つばなどと一緒にウイルスが放出され、他の方がそのウイルスを口や鼻などから吸い込んで感染すること。

※2 接触感染；感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、その手で周りのものに触れるとウイルスがつき、他の方がそれを触るとウイルスが手に付着し、その手で口や鼻を触ることにより粘膜から感染すること。

・潜伏期は1～14日間であり、曝露を受けてから5日程度で発症することが多い(WHO)とされています。陽性者の同居家族や濃厚接触者の方は、PCR検査を行います。濃厚接触者は感染している可能性が高いことから、最終接触後14日間は健康観察を行い、不要不急の外出は控えていただくことをお願いしています。なお、検査はウイルス量による検出の限界がありますので、健康観察中の経過によっては、再検査を行う場合があります。

⑥ その他

5月25日緊急事態宣言が解除されましたが、政府の方針としても、「新しい生活様式」や業種ごとに策定され「感染拡大防止ガイドライン」の実践を通じて、社会経済活動を維持しながらの感染防止対策をしっかりと進めることをお願いしており、「感染のリスクをコントロールしながら、どうすれば実施できるか」という考え方に転換されています。

なお、金沢市のホームページ等においても、新型コロナウイルスについての情報発信を行うと共に、不当な偏見、差別等がないよう周知・啓発を行っております。

○厚生労働省ホームページ、新型コロナウイルスに関するQ&A(一般の方向け)による情報もご参照ください。

【 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/dengue_fever_qa_00001.html】

Q 1 3. 見えないものへの不安。(自分が感染しているのではないか、知らずにうつすのではないか) もしかしたら家族に迷惑をかけてしまう。

⇒ウイルスは目に見えず、わからないことも多いため、不安になるお気持ちはよくわかります。大切なのは、自分にできる感染対策を徹底すること、そして不安な気持ちで他人を攻撃(差別)してしまわないことではないでしょうか。一人ひとりの心がけが大切だと思います。[回答：日本赤十字社石川県支部]

Q 1 4. 感染拡大防止には、外出の自粛や「3密」を避けソーシャルディスタンスをとること等が大切とされているが、具体的な実践となると人によって温度差が生じる。

⇒「この人はあまり対策をしていないから嫌だな」という気持ちは誰にでもあると思います。ただ、その気持ちが他人を傷つける「差別」に繋がらないように、注意する必要があります。もしかするとその方は、何か理由があつてマスクをつけられないのかもしれませんが。ご友人や知人の方であれば、一言声をかけてみてはいかがでしょうか。

ご自身だけでなく周りに働きかけることで、温度差が少しでもなくなり、感染予防にも繋がるのではないかと思います。[回答：日本赤十字社石川県支部]

Q 1 5. 高齢者の自宅訪問をする時に、その家に感染者がいるかもしれないと思うと不安。

⇒対策をしても、どうしても不安な気持ちはあると思います。

ただ、やはり大切なのは感染対策の徹底です。ご自身の体調をしっかり管理し、活動の前後や最中にもこまめな手指消毒など、予防を心がけましょう。

また、どうしても難しい場合は、ご無理のない範囲で活動することも大切だと思います。[回答：日本赤十字社石川県支部]

Q 1 6. 熱がなくても陽性の人がいる。熱がなくても感染するのか。

⇒熱がなくても感染します。無症状の感染者も出ているので、感染拡大を防ぐため、各自感染対策の徹底を心がけましょう。

Q 1 7. ワクチンが出来て、マスクなしの生活ができる日はくるのか。また、終息宣言があるのか。宣言は誰がするのか。

⇒現時点では、有効性が確認された特異的なワクチンは存在せず、治療方法としては対症療法が中心となっています。コロナの終息についても見通しが立たないため、予測できないのが現状です。

Q 1 8. 制限が緩和されているが（スポーツ観戦・各種イベント）対策は大丈夫なのか。

⇒国から示されている基準に則り対策をしていると思われませんが、不安な気持ちがあるならば、人が密集するイベント等への参加は控えるのが良いと思います。

Q 1 9. アルコール消毒の適量と使用方法について。

⇒ポンプやスプレータイプの物であれば、1プッシュ最後まで押し切り、片方の手のひらの中央に溜めて指先をつけます。もう片方の手のひらの中央に流し込み指先をつけます。そこから手のひら全体に広げて、指の間まで念入りに消毒しましょう。

Q 2 0. 咳エチケットを徹底して欲しい。（周りに咳をしている人がいるとコロナではないかと気になる）。

⇒咳エチケットとは、特に人が集まる場所で咳をする際のマナーです。厚生労働省の示す具体的な「咳エチケット」は以下の3つです。一人ひとりの心がけが大切です。

- ①マスクを着用する。
- ②ティッシュなどで鼻と口を覆う。
- ③とっさの時は袖や上着の内側で覆う。

(2) 民生委員活動について

Q 1. 情報が入りにくい。(家族葬、お悔やみ欄に載せない、訪問を避けるなど)
3年に1度の一斉調査がなくても対象者の名簿がほしい。

⇒一斉調査の延期に伴い、緊急連絡先の変更が把握できず対応に支障が生じることや、世帯の種類およびかかりつけ医の変更、日常生活の自立度および認知症の状況の変化が把握できず、適切な福祉サービスの利用につなげられないなどの影響が懸念されます。

民生委員が特に必要と思われる場合には、電話による連絡やメッセージによるやりとりなどを通じて、感染予防に十分配慮しながら適切に支援していくことが求められます。

65歳以上高齢者の名簿は、金沢市が調査目的のため提供しているものです。今年度は新65歳の方へ緊急連絡先を把握するためのチラシを配布するため、対象者名簿が配布されています。

Q 2. 高齢者が外出を控え、受診も控えている。ひとり暮らしの方の孤立が心配。

⇒可能な範囲での訪問のほか、代替手段として電話や手紙等で安否確認するなどで、見守り活動をしていただければと思います。

Q 3. 高齢者夫婦世帯を訪問すると、玄関を少し開けて話をしてくれた。疾患を持っているため外からの物は全部消毒(新聞紙、郵便物、チラシ等)。それだけで1日が終わる気がしてストレスを感じ、情報誌会社にクレームも入れた。夫は妻を置いて毎日グランドゴルフの練習。民生委員として傾聴でしか対応できない自分やいつまで続くかわからない日々に不安を感じる。

⇒終わりの見えない日々への不安はごもっともだと思います。傾聴によりご本人のストレスが柔らぐようであれば、可能な範囲でご対応をお願いします。

Q 4. コロナ禍により、調査や訪問の機会がほとんどなくなり、電話での対応が多くなったので不安は少なくなった。しかし、地域サロンを運営する者としては、感染対策を徹底して開催しているものの、同じ校下の他のサロンは再開していない所が多く、高齢者ばかりなので開催することに毎回不安を感じる。

⇒地域サロンについては、屋外で開催する、内容を変更する等、感染対策を実施したうえで再開する地区が増えています。

Q 5. 各種会合や催し物(祭礼の神輿やキリコなど)が中止され、心と心・人の絆が失われている。原状回復はどうすれば良いか。

⇒コロナ以前の生活に戻ることは難しいと思います。感染対策を取り入れた「新しい生活様式」の実践の中で、人の絆が失われないような取組を検討していく必要があると思います。

Q 6. 調査・配布物など、指示される対応の仕方が違う。直接対面する・しないは、独自で判断するしかないのか。

⇒調査内容や、配布する物によって適切な対応の仕方は異なると思います。

Q 7. オンライン、低接触のアプローチの方法があっても良いのでは。

⇒良いと思います。(Q 2 参照)

Q 8. コロナ禍の中、出来るだけ面会を避けており、通常の見守り活動が出来ていない。電話や隣近所の方々に様子を確認しているがそれで良いか。

⇒それで良いと思います。

Q 9. これまでの支援方法で良いのか(見守り・配食弁当・サロンバス遠足など)。

⇒これまでと全く同じ方法ではなく、感染対策を取り入れた新しい生活様式に合わせて、見直しが必要だと思います。

(3)その他

今年は5年ごとの国勢調査の年で、民生委員にも調査員の依頼があった。私は、過去3回民生委員ということで国勢調査員を引き受けたが、今回は感染の不安もあってお断りした。まず、何で民生委員に国勢調査をお願いするのか疑問である。また、オリンピックが1年延期されたように、このコロナ禍での国勢調査も1年延期できなかつたのか。

⇒国勢調査の調査員募集については、市が幅広く人材を集めるため民児協にも協力依頼がありました。民生委員だからということではなく、協力するかしないかは自由意志に委ねられています。なお、国勢調査は国の重要な調査であり、感染対策を図り、インターネット等での回答がすすめられています。